

今週のビルマのニュース
2010年2月12日【1006号】

工場労働者数千人がスト、武装警官出動で解散

・ラングーン近郊のフラインタヤ産業区で8日と9日、衣類工場などの労働者3000人以上が賃上げや残業代の支払いなどを求めてストライキを行った。これに対し軍政は9日、武装警官数百人を出動させ、「解散しなければ武力で応じる」と警告したためストは終了した。ビルマでは労組は禁止され、集団交渉の権利もない(12日アジア移民センターほか)。

ビルマ国軍がカレン民族の村落を攻撃

・ビルマ国軍は8日、カレン州ニャウンレビン地区の2つの村を攻撃し、国内避難民が使っていた家屋や学校、救護所などを破壊した。この攻撃により80家族が逃げ、ジャングルに隠れている。国軍は1月にも同地区で10の村を攻撃し、約2,000人が避難民となっている(11日米国ビルマキャンペーン)。

【続報】タイ軍によるカレン難民送還計画

・タイ国軍は5日、昨年からタイ国内に避難していたカレン民族難民3家族12人をビルマ・カレン州の元集落に強制送還した。その後、3家族は身の危険を感じたためタイ側に戻った(10日カレン女性機構ほか)。送還先は地雷原となっており、最近も死傷者が出ている。タイ軍は15日までにカレン難民3000人をビルマ側に送還するとしていたが、NGOや米議会議員などから抗議の声が上がったこともあり、現在は送還を停止している(8日イラワディ)。

軍政、SSAに国境警備隊への編入を迫る

・ビルマ軍政代表は6日、停戦協定を結んでいるシャン州軍(SSA)の代表とシャン州ラショーで会談し、SSAが軍政の要求通りに国境警備隊に編入することを2月末までに決めなければ、軍事的措置をとると警告した(9日ミジマ)。

ビルマ出身で米国籍の民主化活動家に有罪判決

・ビルマ出身で米国籍を持つ民主化活動家ニーニーアウン氏が10日、懲役5年の判決を宣告された。氏は昨年9月、ビルマへの入国時に身分証偽造等で逮捕され、収容中には拷問を受けたとされる(10日NYTほか)。これを受けバーマン米下院外交委員会委員長は「(有罪判決はビルマの)米国との関係改善への深刻な障害となる」と述べ、国務省と財務省に対ビルマ制裁を強化するよう求めた(10日同委)。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

1月27日 シャン州で保健センター建設 約4万9,000ドル

イベント情報

・写真展「難民たちの未来、ビルマ partⅢ」撮影：ココラット、主催：アムネスティ岐阜グループ(JR岐阜駅内、17日まで9時～21時)

・第63回ビルマ連邦記念日祝典 ビルマのさまざまな民族の文化、音楽、舞踊の披露あり(南大塚ホール、14日13時～)

・日本ビルマ救援センター月例ビルマ問題学習会「『ロヒンギャ問題』の実相：ビルマ～バングラデシュ国境を訪れて」講師：宇田有三(大阪ボランティアセンター、19日19時～)

・チン・ナショナルデー チン民族の文化、音楽、舞踊等(みらい座池袋豊島公会堂、21日18時～)

注目記事

・マイケル・グリーン博士(CSIS 上級顧問・日本部長、元ホワイトハウス国家安全保障会議上級部長)“The New Burma Road”(The American Interest、2010年春5巻4号)

オバマ政権は昨年9月、ビルマに対し、従来の制裁措置に加え、軍政との直接対話を行うという新しい方針を打ち出した。しかしこれまでのところ、対話によって軍政が問題解決に向けて前進したとは言えない。対話路線の失敗が明らかになる事態に備え、オバマ政権はどのような行動を取るべきか。

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165